

発刊にあたって

今日、経済のグローバル化と産業構造の転換が急速に進む日本においては、労働市場が高学歴化・非正社員化するとともに、人々のライフスタイルが多様化し、消費主義の浸透や孤立化傾向が強まっている。

そのような中、若者の勤労感・職業観も大きく変化してきており、フリーターの急増（213万人『2005年版労働経済白書』）、新規学卒者における無業者の増加（高校約10%、大学約20%）、「NEET」と呼ばれる若者の急増（64万人『2005年版労働経済白書』）など、若者の就業状況にさまざまな課題が顕著化してきている。

このような喫緊の課題に対し、雇用だけでなく教育・生活・住宅など、包括的な政策が求められている。特に学校教育では、これまで弱かった勤労観・労働観を育む「キャリア教育」の確立が急務とされている。

国においては、2003年から教育・雇用・経済政策の一層の連携強化による総合的な人材対策である「若者自立挑戦プラン」が始まったが、2005年度からは、文部科学省の「キャリア教育実践プロジェクト」において、週5日以上職場体験を中学校で実施する「キャリア・スタート・ウィーク」が新たに盛り込まれた。しかし、被差別部落をはじめ、社会的不利な立場の人々の厳しい現実、それを踏まえた効果的な政策の確立、という観点は極めて弱いと言える。

学校におけるキャリア教育の場合も、職業差別や就職差別の克服や多様な達成モデル像の確立、自尊感情の育みなどに向けた、これまでの人権・同和教育の実践の成果を積極的に発信していく必要がある。他方で、人権・同和教育の中にキャリア教育の観点を一層取込み、小・中・高と一貫した内容を確立していく必要がある。同時に、これまでの人権・部落問題学習や学力保障・進路保障と、キャリア教育の関係性を整理していく必要もある。

このような問題意識のもと、学校教育を軸とした実践的な研究を進めるために、「キャリア教育と人権」研究会が結成されたのである。これまで、本研究会では以下の報告を受けてきた。

第1回 2005年1月22日（土） 於 大阪人権センター

「進路を切り拓く力の育成を - 自立支援をめざすキャリア教育の創造 - 」

報告者 宝塚造形大学 教授 桂 正孝

第2回 2005年2月26日（土） 於 大阪人権センター

「人権の視点をふまえたキャリア教育の実践事例について」

報告者 松原市立布忍小学校

「地域と連携した職場体験学習」

報告者 松原市立松原第三中学校

第3回 2005年5月7日(土) 於 大阪人権センター

「児童養護施設の子どもたちの学校における自立支援の取組と進路保障」

報告者 西宮市立船坂小学校

西宮市立山口中学校

第4回 2005年7月9日(土) 於 大阪人権センター

「兵庫県トライやるウィークの成果と今後の課題」

報告者 吉川町立吉川中学校 教諭 長谷川 珠里

兵庫教育文化研究所 桜井 輝之

「職場体験学習から何を学ぶか - ドイツとアメリカの事例から - 」

報告者 部落解放・人権研究所 嘱託研究員 西 美江

第5回 2005年9月17日(土) 於 大阪人権センター

「普通科高校における日本版デュアルシステムの取組み」

報告者 大阪府立布施北高等学校 教頭 易 寿也

「伯太高校のグローバル・スタディーズの取組み」

報告者 大阪府立伯太高等学校 教諭 山本 弘

第6回 2005年11月19日(土) 於 大阪人権センター

「大阪府高校3年生の進路意識と進路決定に関するアンケート」調査結果について

報告者 大阪府立大学人間社会学部 助教授 西田 芳正

日本学術振興会 特別研究員 妻木 進吾

広島大学 大学院生 菅野 正之

部落解放・人権研究所 内田 龍史

これまで同和教育においては「進路保障は同和教育の総和である」という観点から、学力保障や進路保障等の取組みが積極的に進められてきた。一方で子どもたち一人ひとりに豊かな職業観・勤労観を育むという観点から、国レベルでキャリア教育の取組みが政策的に進められつつある。すべての子どもたちの自己実現と未来を切り拓くためには、相互補完の観点からこれらの取組みを再構築することが重要である。

本報告書は「キャリア教育と人権」研究会での報告を中心に、人権教育の観点からキャリア教育を推進する意義と可能性について知見を与えるものとして取りまとめたものである。また、資料として、大阪府教育委員会が策定した「キャリア教育を推進するために」、大阪商工会議所人材育成委員会等が策定した「大阪におけるキャリア教育推進プラン」、キャリア教育関連データベースを収録している。

人権教育とキャリア教育の取組みを一層充実させ、すべての子どもたちの「生きる力」の育成と社会での自立に向けた支援につながるよう、本報告書の活用を願う次第である。

(社)部落解放・人権研究所
「キャリア教育と人権」研究会
代表 桂 正孝

目 次

総論編

- 進路を切り拓くキャリア教育の構築 - 若者の社会的自立をめざして -
.....桂 正孝 (1)
- 同和教育の実績を踏まえたキャリア教育を
.....中村清二 (7)
- 欧米のキャリア教育・職業教育から学ぶこと
.....西 美江 (17)

実践報告編

- 小学校におけるキャリア教育の取組み - 松原市立布忍小学校 -
.....幸 隆之、矢野智史 (28)
- 地域と連携した職場体験学習の取組み - 松原市立松原第三中学校 -
.....房本 晃 (38)
- 地域と協働する学校づくりからキャリア教育の構築へ - 池田市立細河中学校 -
.....丹松美代志 (48)
- 普通科高校における「日本版デュアルシステム」の取組み
.....易 寿也 (60)
- 「総合的な学習の時間」で展開する人権教育と進路指導の連携による
「キャリア教育」 - 大阪府立伯太高校 -
.....山本 弘 (71)
- 児童養護施設の子どもたち - 西宮市立船坂小学校 -
.....上田寿一 (86)
- 児童養護施設の子どもたちの進路保障 - 西宮市立山口中学校 -
.....畑中通夫 (93)
- 「トライやる・ウィーク」と男女共生教育 - 吉川町立吉川中学校の事例 -
.....長谷川珠里 (101)
- 「トライやる・ウィーク」の意義と課題
.....桜井輝之 (108)

高校生の進路意識調査から

「若者と社会的排除 進路分化 = フリーターの析出過程」

- 1 「大阪フリーター調査」の知見と「高校生の進路意識調査」
・・・・・・・・・・・・・・・・・・西田芳正 (115)
- 2 進路分化と生育家族の階層的背景
・・・・・・・・・・・・・・・・・・妻木進吾 (121)
- 3 進路分化と学校生活
・・・・・・・・・・・・・・・・・・菅野正之 (127)
- 4 進路分化とモデル・ジェンダー・ネットワーク
・・・・・・・・・・・・・・・・・・内田龍史 (132)

資料編

「キャリア教育を推進するために」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・大阪府教育委員会 (138)

「大阪におけるキャリア教育推進プラン」

・・・・大阪商工会議所人材育成委員会 (154)

キャリア教育関連データベース (URL 一覧)

・・「キャリア教育と人権」研究会編 (165)